～さらに住みよい安城市を目指して～

横田雅史 市政レポート

2024年10月
No.6

発　行：横田雅史　　連絡先：〒446-8511　安城市里町長根2－1
TEL：0566-96-0147　　FAX：0566-96-0148

ご挨拶

初秋の候、まだまだ残暑が残り暑い日が続く日々、皆さまにおかれましては、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年の夏の時期（６月～８月）は、平年と比べ平均気温は1.76度高く、昨年と並んで「最も暑い夏」となりました。厳しい暑さとなりましたが、安城市の夏を彩る安城七夕まつりでは１００万人の方が来訪され大いに賑わいました。大きな事故もなく楽しんでいただけた事と思います。七夕まつりを支えてくださったボランティアの皆さまに感謝申し上げます。

９月には、令和７年度に向けた政策要望を提出いたしました。引き続き皆さまの安全と健康を第一に考え、より良い街づくりに向けて努力を重ねてまいります。

令和６年９月定例会　（9/2～27）

令和６年９月定例会では、令和５年度決算認定、各議案への質疑や一般質問が行われました。令和５年度の一般会計・特別会計歳入歳出、議案として提出された条例改正や令和６年度一般会計補正予算（12億6千万円余）など合計25本を原案通り可決し閉会しました。

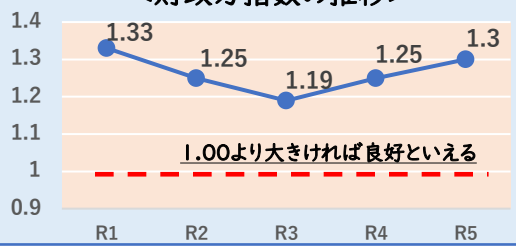
令和５年度一般会計決算報告

令和５年度の決算について、財政力指数は1.30。他の財政状況を示す指標においても県内市の中でも上位にあたり、財政状況としては引き続き健全な状態を維持しています。

＜令和5年度　一般会計 決算収支＞

歳入決算額　(A)	752億5,700万円
歳出決算額　(B)	695億9,100万円
翌年度に繰り越すべき財源　(C)	13億9,300万円
実質収支　(A-B-C)	42億7,300万円の黒字

＜財政力指数の推移＞



＜主な実施事業（抜粋）＞

- eスポーツ体験講座
- 3×3コート設置
- 防犯カメラ設置100台
- 24H電動シェアサイクル
- プレミアムポイント還元
- 中小企業支援
- 小中学校給食費無償化

活動報告　「令和７年度に向けた政策要望書」を提出

令和６年度からスタートした第９次安城市総合計画
- 子どもを育む優しい「しくみ」をつくる
- 子どもを育む確かな「ちから」を蓄る
- 子どもを育む安らぎの「ばしょ」を築く

これらの項目と「行財政運営の推進」を踏えた項目に対して会派「みらいの風」として98項目を要望しました。

三星市長へ要望書を提出

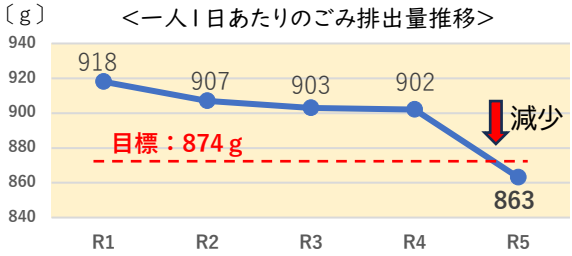
地域での困りごと、ご要望などございましたら労働組合の「くらしの相談カード」やホームページにご相談ください。

（横田まさしHP）

決算委員会：産業建設分化会にて質問

ごみ減量化推進事業について

Q１：一人１日あたりのごみ排出量が、令和５年度に大幅に減少しているが要因は？



A１：近隣市においても減少しており、物価高騰による買い控えや新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴う外出機会の増加など、社会的な要因によるものと推察。また、ごみ減量分別説明会の実施などによる市民のごみ減量意識の向上も要因の１つと考えられる。

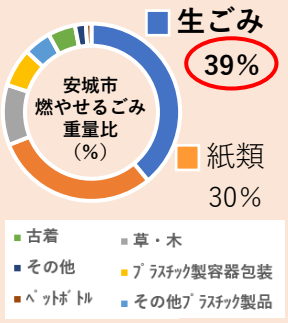
Q２：生ごみ処理機器設置補助金が、昨年までと比べ大幅に増額となっている理由は？

・生ごみ処理機器設置補助金
R4年度：１58万円　（ 89基）
R5年度：329万円　（171基）

Q３：生ごみ処理機器を利用するメリットは？

A2：これまで市内の販売店に限定していた購入先を、通信販売を含む国内の販売店に拡大したことなどにより、補助金の申請件数が増加した。

A3：生ごみ処理機器には、生ごみを強力に乾燥させて容量を小さくするものや、たい肥化するものなどがある。市民にとっては、ごみ出しの量や回数を減らすことができる。市にとっては、燃やせるごみの収集、焼却及び灰の処分にかかる経費の削減につながる。
加えてこれらはCO2の削減にもつながる。



安城市の燃やせるごみの内訳によると**約4割が「生ごみ」**になります。
ご家庭から出る生ごみを減らして、引き続きごみ排出量削減に努めましょう！
以下の安城市の取り組みもご利用ください。

安城市　生ごみの減量と再資源化の取組み
・生ごみ処理機器購入費補助制度
・乾燥生ごみをごみ袋やトイレットペーパーと交換　など
他にも、**食品ロス削減　フードシェアリングサービス**
「Anjo たべ Ring by タベスケ」にも取組んでいます。

（生ごみ減量）　（食品ロス削減）

安城市からのお知らせ　育休退園の段階的解消に向けて

出産および産後期の多子世帯の育児負担を軽減し、より安心して子育てができるほか、
現在保育園・こども園に通っている子が保護者の育児休暇取得によって環境が変わる事がないよう、
段階的に低年齢児（0～2歳児）の育休退園を解消していきます。

年度	育休退園の段階的解消に向けた内容	取組み内容
R7～	**・出産に伴う入園可能期間の延長** （上の子を預かる期間を、産後2か月後の月末→6か月後の月末まで） **・3歳児以上の育休中の入所要件緩和** （育休復帰時→年度内復職見込みで、年度当初からの申し込み可能）	**・保育士の継続的確保** **・私立園への支援**
R8～	**・育休退園の解消**	

いそざき哲史さん　私たちの仲間をみんなで応援しよう！

いそざき哲史　プロフィール

1993年　㈱日産自動車へ入社
2005年　労働組合　執行部
2011年　自動車総連　特別執行委員
2013年　参議院議員　初当選
2019年　参議院議員　当選（2期目）

私達とも連携し、国政に働きかけていただいています！

参議院議員　てつじ
いそざき哲史
公式サイトはこちら